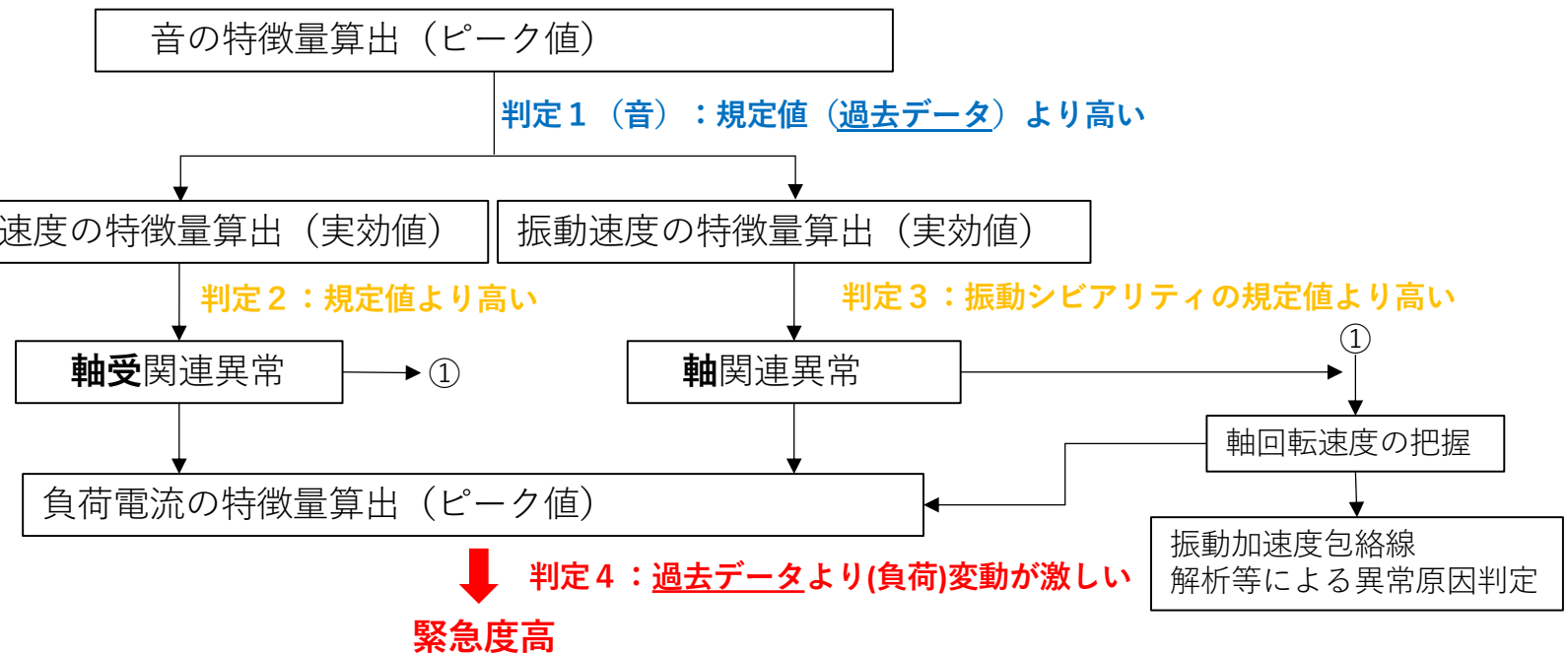


## 軸受診断アルゴリズムの設計

緊急度なし

緊急度低

緊急度中



### <判定方法>

- |                                                   |                                                      |                         |
|---------------------------------------------------|------------------------------------------------------|-------------------------|
| 判定1 : 音が規定値 (過去データ) より高い<br>(音実効値)                | → 音の実効値 (半日の平均値または瞬間値) が、これまでの最低値 (半日の平均) の2倍を超える。   | 出力 : (最低値の) X倍 (2倍以上の値) |
| 判定2 : 振動加速度が規定より高い<br>(振動加速度実効値)<br>(振動加速度包絡線実効値) | → 神童君DBに規定される軸受の注意値、限界値を超える。                         | 出力 : 正常0、注意値超1、限界値超2    |
| 判定3 : 振動速度が規定より高い<br>(振動速度実効値)                    | → 振動シビアリティ (JIS B 0906) の注意値 (ゾーンC)、限界値 (ゾーンD) を超える。 | 出力 : 正常0、注意値超1、限界値超2    |
| 判定4 : 過去データより(負荷)変動が激しい<br>(負荷電流ピーク値)             | → 負荷電流の変動係数 (半日間) が、(その間の) 最低値に対して2倍以上である。           | 出力 : (最低値の) Y倍 (2倍以上の値) |

## 軸受診断による緊急度（アラートレベル）の判定基準

緊急度	判定				内容
	音	振動加速度	振動速度	電流	
0	○	○	○	○	正常
1	×	○	○	○	異常の兆候
2	×	△	or △	○	異常の発生 (要調査)
3	×	×	or ×	○	重度の異常 (速やかに対応)
4	×	△	or △	×	重大な異常 (直ちに対応)
5	×	×	or ×	×	緊急事態 (手遅れに近い)



※ 振動加速度または振動加速度包絡線のアラート出力が該当